

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	国際協力に必要な経費		担当部局庁	長官官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	国際課		国際課長 白川 靖浩		
会計区分	一般会計		施策名	政策評価非対象				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外国治安機関や国際機関等との緊密な連携を図るとともに、これら機関との円滑な情報交換を実施することにより、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安的課題等に対し、国際社会が協調して対応する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	人・物・金・サービス・情報が国境を越えて急速に移動する現代において、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安的課題等に対応するためには、国内における治安対策のみならず、外国治安機関や国際機関等との緊密な連携が必要不可欠であり、外国治安機関職員等との情報交換を円滑に行い、国際的な協力が円滑に行われるよう、各国内の治安の状況や課題、警察組織の在り方等について相互に十分な理解を示した上で、適切な協力の確保に向けた協議等を実施するため、外国治安機関への訪問や外国機関幹部の招へい等を行う。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	300	165	193	94	85	
		繰越し等	5	0	0	0		
		計	0	0	0.25	0.25		
	執行額	295	165	192.75	94.25	85		
	執行率(%)	216	88	118				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	(成果目標) 各国共通の治安的課題等に対する国際協調の推進 (参考指標) 国際犯罪に関する情報の交換件数(ICPOLレポート:件数は暦年値)		成果実績	件	27,732	39,918	42,285	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	我が国から外国治安機関等への訪問数及び我が国への外国治安機関職員等の招へい数		活動実績 (当初見込み)	訪問数(人)	64	85	120 (120)	- (63)
			招へい数(人)	215	163	257 (257)	- (160)	
単位当たりコスト	(外国治安機関等訪問) 456千円/人 (外国治安機関職員等招へい) 201千円/人		算出根拠	(外国治安機関等訪問) 訪問に係る全執行額(54,730千円)/訪問人数(延べ120人) (外国治安機関職員等招へい) 招へいに係る全執行額(51,543千円)/招へい人数(延べ257人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外国旅費	39	28	調査研究の終了に伴い減額したもの。				
	外国人招へい旅費 招へい外国人滞在費	38	43					
	諸謝金	0.2	0.2					
	物品購入等	1	1					
	役務・委託等	15	12					
計	94	85						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 物品購入・役務等については、警察庁において契約しているため、支出先及び使途について十分把握している。また、管区警察局に配賦している諸謝金については、管区警察局から執行状況の報告を受けており、支出先及び使途は把握している。</p> <p>2 見直しの余地 国際協力については、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安的課題等に国際社会が協調して対応していくためにも、引き続き、推進する必要がある。 経費の執行にあたっては、旅費については、割引航空運賃の利用しているほか、物品購入、役務、委託等における契約についても、仕様書の見直しを行うなどにより競争性の確保を図り、効率的な執行に努めている。</p>		
	<p align="center">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。	
	3	レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
<p align="center">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p>特になし</p>			
<p align="center">補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
<p>特になし</p>			

警察庁
118百万円

国際協力に必要な経費を直接執行するほか、地方機関に予算配賦

< 外国旅費 >

A. 警察職員
(120人)
55百万円

警察職員に対して、外国旅費を支出

< 外国人招へい旅費・招へい外国人滞在費 >

B. 外国人
(257人)
52百万円

外国人に対する旅費、滞在費を支出

【予算配賦】

C. 管区警察局
東北管区警察局
0.05百万円

講師謝金を執行

九州管区警察局
0.04百万円

< 諸謝金 >

F. 外部講師
(3人)
0.05百万円

外部講師に対して、謝金を支出

< 物品購入等 >
【一般競争入札、随意契約(少額)】

D. (株)静和堂
0.9百万円

出版物(印刷製本)等を納入

< 役務・委託等 >
【随意契約(少額)】

E. 民間会社
(34者)
11百万円

通訳業務等の役務等を提供

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.警察職員(120人)			E.(株)ジェイ・ピー旅行		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	警察職員に対する外国旅費	55	委託	アジア・太平洋地域薬物取締り担当実務者会議に要する経費	9
計		55	計		9
B.外国人(257人)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国人招へい旅費・招へい外国人滞在費	招へい外国人に対する旅費・滞在費	52			
計		52	計		
C.東北管区警察局			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	講師謝金に要する経費	0.05			
計		0.05	計		
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	警察職員に対する外国旅費(延べ120人)	55		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外国人	招へい外国人に対する旅費・滞在費(延べ257人)	52		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北管区警察局	外部講師に対する謝金	0.05		
2	九州管区警察局	外部講師に対する謝金	0.04		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェイ・ピー旅行	アジア・太平洋地域薬物取締り担当実務者会議に要する経費	9	4	
2	(株)アーバン・コネクションズ	警察白書の翻訳	1	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

国際協力に必要な経費

事業概要

人・物・金・サービス・情報が国境を越えて急速に移動する現代において、国際組織犯罪、国際テロなど世界各国共通の治安的課題等が山積

外国治安機関や国際機関等との緊密な連携、国際社会と協調した対応を図ることが必要不可欠
外国治安機関職員等との情報交換 各国内の状況や課題、警察組織の在り方等についての相互理解
適切な協力の確保に向けた協議等の実施

予算の内訳・事業の具体例

平成22年度関係予算(193百万円)

外国旅費 <59百万円>

諸外国との閣僚級会合の開催やG8、ASEAN、FATF等の枠組みで開催される国際会議等に参加



国際組織犯罪、国際テロに対する国際的な情報交換等により協力関係を強化

外国人招へい旅費等 <112百万円>

平成22年11月、トルコ警察幹部を招へいし、意見・情報の交換、交番、鑑識等の視察



我が国と招へい国相互の信頼関係の構築による人的交流の促進及び捜査共助・協力関係の強化

諸謝金 <0.3百万円>

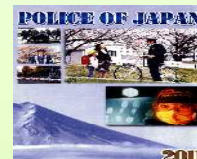
管区警察局単位で部内通訳人に対する講習会等を実施



全国規模での通訳体制・通訳能力の維持向上を図り、国際捜査の体制、外国治安機関との協力関係を強化

物品購入 <2百万円>

日本の警察制度、国際協力の概要等をまとめた冊子「ポリス・オブ・ジャパン」を作成



日本警察への理解の促進、外国治安機関との国際協力及び国際交流を促進

役務委託等 <20百万円>

平成23年2月、アジア・太平洋薬物取締会議の開催



アジア・太平洋地域における薬物犯罪捜査の国際的な取組みを推進